

## 【道徳科】教科提案

### 「よりよい生き方」について考えを深める道徳科

#### ～可視化・共有化を充実させることで～

#### 1. 研究テーマ設定の理由

昨年度は学校提案を受け、道徳提案を「実践意欲と態度を育てる道徳科～互いにつながり合う授業～」とした。これは、授業のねらいとする道徳的価値を自分の問題として捉え、自ら考え身につけていこうとする意欲を呼び起こすことができれば、実践意欲や態度につながると考えたからである。他教科他領域と関連させた単元での取り組みは、子どもたちの実践意欲や態度につながった。

その一方、道徳科としての1時間において、よりよい生き方について考えることには課題が見られた。そこで、今年度は、道徳科としての1時間の授業で可視化・共有化を充実させることにより、「よりよい生き方」について考えを深めていきたい。授業の充実が実践意欲や態度をより高めることにつながればと考えている。

#### 2. 研究仮説

子どもの言葉<sup>1</sup>を可視化・共有化をさせることで、自分なりの「よりよい生き方」について考えを深める子どもたちの姿を引き出すことができるであろう。

#### 3. 道徳科における「問い続け、学び続ける子どもたち」

道徳科では、「問い続け、学び続ける子どもたち」を次のように定義した。

友だちと考えを交流しながら、  
自分なりの「よりよい生き方」について考えを深めようとする姿

低学年	中学年	高学年
自身の経験と重ね合わせて生き方について考える。	自分の考えや友だちの考えと重ね合わせながら生き方について考える。	様々な立場や支店に立って「よりよい生き方」について考える。

#### 4. 道徳科で身に付けさせたい資質・能力及び態度ともの見方・考え方

めざす力	つなぐ力	実感する力
自己を見つめ、自己の生き方について考えを深めようとする力	自己の経験や友だちの考え、これからの自己の生き方を関連させながら考える力	生活の中で、問題場面にあつたときに、よりよい判断や行動ができる力

#### 〈もの見方・考え方〉

○多面的・多角的な見方・考え方

#### 5. 研究内容

- (1) 自分の考えを表現しやすくする工夫
- (2) 自分の経験・友だちの考え・これからの自己の生き方をつなげる見とりと支援

#### 6. 研究評価

5. 授業内容で取り組んだ授業実践の中での子どもの言葉や1時間の振り返りの記述から、成果と課題を明らかにしていく。それとともに、実践意欲や態度につながったかを学校生活全般の行動の記録を適宜とったり、子ども自身が自己の成長の生き方についての振り返りを記述したりしながら、検証する。

<sup>1</sup>子どもの言葉とは、子どもが発する言語だけでなく、つぶやきや表情・仕草等の子どもの一挙手一投足を捉えたものである。(cf: 学校提案)